

# Crime Info

CrimeInfoは、刑事司法の正確な情報を提供し  
刑事司法の理解を助けるツールを提供します。



<https://crimeinfo.jp>

特定非営利活動法人  CrimeInfo

# 百聞は一見に しかず。



## CrimelInfo フォトギャラリー



日本国内では初めて一般市民が刑務所・拘置所などの刑事施設6か所の内部を撮影し、写真に収めました。撮影したのは、東京工芸大学の写真学科の学生。市民活動とは無縁の学生が、刑務所の「いま」を、ありのままに写し出します。

CrimelInfoでは、各地で写真展を開催するとともに、CrimelInfoウェブサイト「フォトギャラリー」にて写真を公開しています。写真展の開催をご希望の団体には写真の貸出も行っています。ぜひお問い合わせください。

### 撮影施設

- 東日本聖人矯正医療センター
- 東京拘置所
- 黒羽刑務所
- 千葉刑務所
- 栃木刑務所
- 府中刑務所



世論調査で賛成8割とされる「死刑」。しかし、死刑について情報提供や議論、政府は避けてきています。「望むのは死刑ですか」は、死刑について知ること一般市民の判断がどう変化するかを追った映像ドキュメンタリーです。



誰かを「死刑」したいのは、あなたなのか？

ドキュメンタリー映画

# 望むのは死刑ですか

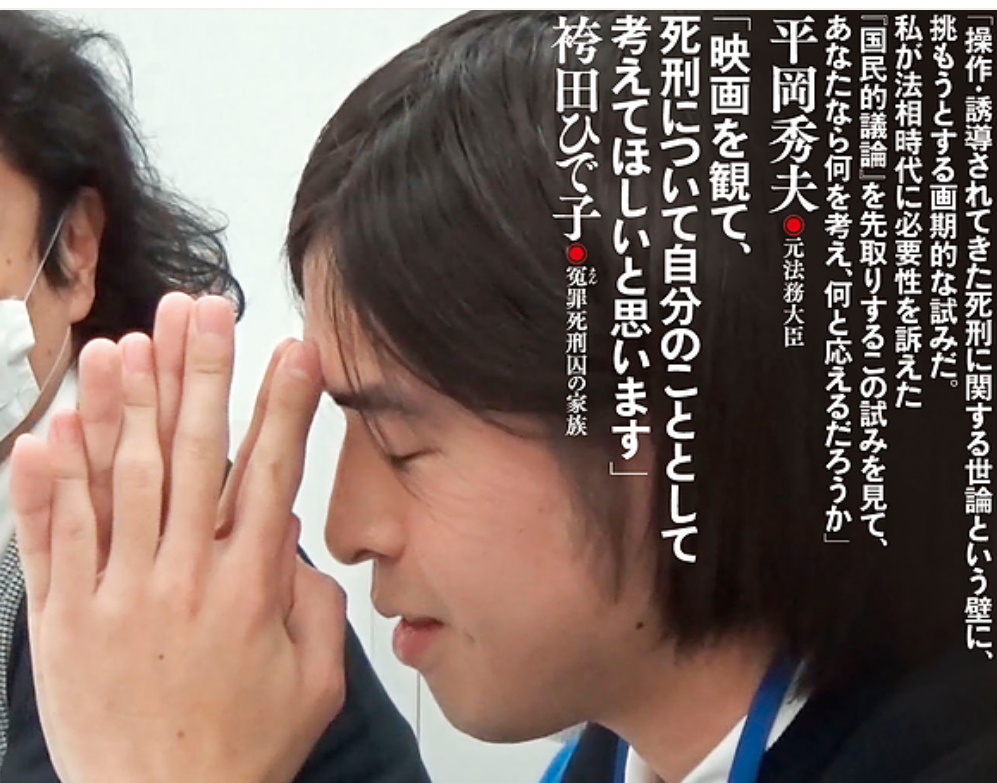
考え悩む“世論”

**CrimelInfo 映像ドキュメンタリー**



CrimelInfoで「望むのは死刑ですか」を**全編無料視聴**できます。

学校などの教育機関・各種団体・グループ等でCrimelInfoの申請フォームから申込みいただくと、無料でインターネット上で動画を視聴することができます（DVDの貸出にも応じています）。映画の中で実際に行われた死刑に関する講義もCrimelInfoのウェブサイトで公開しています。



「この国に足りないのは話しあいだ」  
**山本太郎** 参議院議員・俳優

「この国で語られていることこそを、

この国のすべての人は議論しなければならぬ。

共に迷い、共に悩み、そして考え、言葉にし、言葉を聞く。決して思考停止しないための、意欲的で真摯な映画だ」

**雨宮処凛** 作家・活動家

「死刑というものを

まじめに本気で考えるきっかけを、

この映画は与えてくれる」

**田原総一郎** ジャーナリスト

「操作・誘導されてきた死刑に関する世論という壁に、挑もうとする画期的な試みだ。

私が法相時代に必要性を訴えた

「国民的議論」を先取りするこの試みを見て、あなたなら何を考え、何と応えるだろうか」

**平岡秀夫** 元法務大臣

「映画を観て、

死刑について自分のこととして

考えてほしいと思います」

**袴田ひで子** 冤罪死刑囚の家族

# 正確な数値 で社会が 見える。



## CrimelInfo データ

### 統計

公式な統計や法務省の公開資料をもとに、犯罪にまつわる数値を正確に集計。経年による推移を見ることができ、社会の変遷を見ることができる。出典はすべて明記。関係各所（裁判所など）に問い合わせることで初めて得た数値も公表。

掲載している統計データ  
(例)

- 死刑判決数、死刑執行数
- 審級別死刑判決数
- 無期刑：年末在所受刑者・新受刑者・新規確定人員
- 殺人の罪：起訴人員・不起訴人員・起訴

※グラフや説明用資料を随時  
拡充

### 死刑確定者リスト

1981年以降に刑が確定した死刑確定者を掲載。判決や新聞記事を出典として、正確なリストを作成。

掲載しているデータ (例)

- 判決日、事件番号
- 事件や判決の概要
- 裁判所判例へのリンク
- 民間データベース収録情報
- 判決以外の新聞記事情報
- 再審や民事訴訟情報

### 裁判員裁判で死刑判決が破棄された事例

司法に対する国民の理解の増進とその信頼の向上を期する裁判員制度。裁判員裁判による死刑判決が、裁判官のみで審理される控訴審で破棄されたケースは7件ある(2009年-2020年)。死刑に値するか否かの判断が、第一審とその後でどのように変遷したのか、判決や当時の新聞報道など、公にされている情報からその軌跡をまとめた。

判決日、事件番号、裁判所判例へのリンク、民間データベース収録情報なども収録。死刑と無期を隔てるものは？



刑事司法の様々な分野で活躍されている方々が、特別に寄稿した、CrimelInfoだけの論文・エッセイ集です。

- 田鎖麻衣子 (CrimelInfo代表) 「社会的弱者と死刑」
  - 伊東研祐 (慶応大学名誉教授) 「刑法学からみた『死刑』の正統性について」  
「『ウィズ・コロナ』現代共生社会における『刑』法の変質—刑法学からみた『死刑』の正統性について (続)」
  - 村岡啓一 (白鷗大学教授) 「日本の刑事司法:平成刑事訴訟法の下での現状評価」
  - 後藤弘子 (千葉大学教授) 「死刑とジェンダー」
  - 平岡秀夫 (元法務大臣) 「法務大臣としての経験から見た死刑存廃問題」
  - 西嶋勝彦 (袴田事件弁護団長) 「冤罪」
  - 入江杏 (「ミシュカの森」主宰・世田谷事件のご遺族) 「刑事司法と被害者遺族」
  - 安形静男 「日本の死刑廃止論者：中江兆民の死刑廃止論」
  - 笹倉香奈 (甲南大学法学部教授) 「アメリカの死刑制度の動向」
  - 大谷恭子 (弁護士) 「そこに生きた人間がいる—死刑事件の弁護経験から伝えたいこと—」
- ※今後も、定期的に新しい論文・エッセイを追加する予定。

## CrimelInfo 文献・資料



### 教材

授業やワークショップなどで活用していただくためにCrimelInfoが教材を作成。参加型学習（アクティブ・ラーニング）でお使いいただける教材冊子を無料で提供しています。

#### 教材「知らないからこそ話し合おう！」

series #01 裁判員裁判・死刑制度

series #02 『刑務所』のこと

知らないからこそ  
話し合おう!

「裁判員裁判・死刑制度」



知らないからこそ  
話し合おう!

「刑務所」のこと



### OPEN ACCESS 論文

「自由と正義」(日本弁護士連合会)誌上で発表された論文の一部（主に死刑に関するもの）を全文無料で掲載しています。

### 文献リスト

死刑に関する文献を15のテーマに沿ってピックアップ。

### 弁護士会による 死刑廃止関連の決議等

日弁連や各地の弁護士会による死刑制度の廃止に関する宣言・決議などを一挙に紹介。

### COVID-19と刑事拘禁

国内外の政府・国連機関が発している新型コロナウイルスに関する文書や資料、国内の人権団体による声明を紹介。重要なものには和訳があります。

私たちも  
応援して  
います。



### 安岡崇志（元日本経済新聞社論説委員・元法テラス理事）

日本の死刑執行の特質はD・T・ジョンソン教授が「他国とは比べものにならないくらい極端」と一般向け著書『アメリカ人のみた日本の死刑』（2019）で指摘した「密行性と沈黙」にある。メディアが死刑制度の存廃論議を提起しようとするとき、この特質こそが最初にぶつかる壁なのだ。Crimeinfoが収集し提供する、死刑を巡る多様な情報は壁にかけた丈高い梯子になると思われる。

### 新倉修（青山学院大学名誉教授・弁護士）

私は40年間刑法を教えてきましたが、その経験によると、日本の法学部の学生は一般的に死刑を支持しています。彼らは、現状を批判せず、死刑の存続に賛成しますが、そもそも死刑の執行に関する十分な証拠に基づいた情報を得ていません。さて、Crimeinfoが開発したテキストは、4つのグループ演習を通して、日本の死刑制度について批判的に議論することを奨励しています。また、このテキストでは、ドキュメンタリー映像（これもCrimeinfoが開発したもの）を使用して、対話と考察を促すことで、専門家でなくても授業を行うことができます。私は、このテキストを刑法セミナーで使用していますが、人権教育に関心のある先生方には、迷うことなくお勧めします。



### 浜井浩一（龍谷大学法学部教授・元法務省職員）

情報は力である。しかし、間違った情報でもネットネット上で拡散してしまえば力を持ってしまう。正しい議論は正しい情報から。そのための情報サイトです。



### 平岡秀夫（弁護士・第88代法務大臣）

Crimeinfoは、「死刑に関する客観的な情報の提供に特化した日本で初めてのウェブサイト」として評価されています。私自身、日本国の法務大臣として、死刑制度について国民的議論を行うことを目指しましたが、死刑に関する客観的で整理された情報が国民にほとんど提供されていないことを痛感しました。昨年6月には、私も設立発起人の一人となって「死刑をなくそう市民会議」を設立しましたが、死刑に関する客観的な情報は、主にCrimeinfoの情報を利用させてもらっています。



# スタッフ 紹介。



## 代表 田鎖 麻衣子

大学在学中に、刑務所の処遇や死刑問題に関心を持つ。弁護士として死刑再審事件や刑事施設での処遇をめぐる国家賠償請求事件などに取り組みながら、日弁連刑事拘禁制度改革実現本部など弁護士会活動に従事。NGOメンバーとして2002年には世界死刑廃止連盟（WCADP）の設立に参加、2019年3月まで約10年間、NPO法人監獄人権センターの事務局長を務めた。2016年よりCrimelInfoの前身となるプロジェクトを英国・レディング大学と共同で開始し、2019年にNPO法人CrimelInfoを立ち上げる。主な共著に、「『被害者問題』からみた死刑」（日本評論社 2017）、「孤立する日本の死刑」（現代人文社 2012）、「刑務所のいま-受刑者の処遇と更生」（ぎょうせい 2002）、「人権読本」（岩波ジュニア新書 2001）。  
博士（法学）。



## 副代表 佐藤 舞

2020年8月よりモナッシュ大学（オーストラリア）准教授に就任と同時に、アジアの死刑研究所Eleosの理事に就任。ロンドン大学キングス・カレッジ法科学部にて博士号を取得。前職は英国オックスフォード大学やレディング大学法学部にて准教授を務める。著書の一つに「日本の死刑制度：国民は死刑廃止を容認するか」（Springer, 2014）。2015年には、日本の一般市民にとって死刑がどのような意味を持つのかを探る社会実験を捉えたドキュメンタリー映画「望むのは死刑ですか」のプロジェクトを手がけた。

# Crime Info

CrimeInfoの活動を支えるため皆様からの寄付をお願いいたします。

 <https://crimeinfo.jp>

 [info@crimeinfo.jp](mailto:info@crimeinfo.jp)

 @CrimeInfo



三井住友銀行 新宿西口支店 (259)  
口座種別: 普通 口座番号: 4509971  
特定非営利活動法人CrimeInfo  
カナ: トクヒ) クライムインフォ

ゆうちょ銀行 記号番号: 00150-8-421283  
〇一九(ゼロイチキユウ)支店 当座 0421283  
特定非営利活動法人CrimeInfo  
カナ: トクヒ) クライムインフォ



〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-12-1  
サンパレス新宿909

特定非営利活動法人  CrimeInfo

